

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 平成29年度第1回審議概要

開催日及び場所	平成29年6月12日（月） 大阪合同庁舎第1号館 別棟 新館3階 A会議室		
委員	芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長代理） 角松生史（神戸大学大学院法学研究科教授 第二部会長 今回抽出担当者） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士） （五十音順）		
審議対象期間	平成29年1月1日 ～ 平成29年3月31日		
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不働状況報告 ⑤低入札価格調査制度対象工事の発生状況報告		（備考） ・①～⑤について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項	総件数	（備考）	
①抽出案件	5件	[抽出件名]	
＜工 事＞			
一般競争入札方式 （WTO対象）	1件	・和歌山下津港海岸(海南地区)日方水門築造工事	
一般競争入札方式 （WTO対象外）	1件	・和歌山下津港本港地区岸壁(-12m)等改良工事	
＜業 務＞			
簡易公募型プロポーザル方式	1件	・広域港湾ネットワーク方策検討業務	
＜役務の提供及び物品＞			
一般競争入札方式	2件	・廃棄物処理(その2) ・乗用自動車交換購入	

	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意 見 ・ 質 問	回 答
【報告事項】 ①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ・質問なし	

意 見・質 問	回 答
【審議事項】 1. 一般競争入札方式（W T O対象） 「和歌山下津港海岸（海南地区）日方水門築造工事」 ・本案件の様な津波のための水門は、停電の時でも作動しますか。 ・競争参加者である4JVの評点合計が最終的に同一になっていますが、総合評価落札方式とは評点をほぼ一緒にしてから価格で決めるものなのでしょうか。 ・資料3（別冊）に記載されている、指定テーマに対する具体的な提案内容については、落札者のもののみを掲載しているのでしょうか。	・はい。Jアラートに連動して自家発電により自動降下しますので、停電時でも作動に問題ありません。 ・4者の評点が同一の185点になりましたが、今回のようなことは非常に稀です。本案件はWT0対象であることから技術提案のみを評価する契約方式をとっております。その二つの指定テーマに対して各テーマ毎の点数では業者間に差が生じているものの、合算するとたまたま同一点数になりました。 ・落札者以外の提案内容につきましては、著作権が各者に帰属しており、掲載するのは妥当ではないとの判断のもと、落札者の提案内容のみを掲載しております。

意 見・質 問	回 答
2. 一般競争入札方式（W T O対象外） 「和歌山下津港本港地区岸壁（-12m）等改良工事」 ・金額的には発注等級B等級のところ、その場合一者応札が予想されたので、A（中小）等級に拡大したということですか。 ・B等級で唯一の参加表明者である（株）坂口興業が競争参加資格無しとなったということは、価格からはB等級が標準発注等級であっても、求める工事の水準がB等級では難しいということですか。 ・そもそもの発注等級は価格で決めるものであり、競争参加要件も一定の基準が設けられているとなると、今回のような案件の場合は、等級の拡大を図らないと競争性が確	・過去に同等規模の工事を発注した際の参加状況から、B等級だけでは競争性の確保が困難であると予想されました。 ・推察になりますが、B等級の業者は抱えている技術者数が少ないので、他案件に技術者を割いてしまっているなどして、宛がう技術者を確保出来ないことが要因として考えられます。 ・そのとおりです。

保出来ないということですか。	
----------------	--

意 見・質 問	回 答
3. 簡易公募型プロポーザル方式 「広域港湾ネットワーク方策検討業務」 - 参加表明者が2者というのは少ないと感じますが、これは参加要件の設定によって、そもそも対象となりうる業者数が少なくなっているのでしょうか。 - 広域ネットワークとは大規模な構想ですね。	- 公示した内容を基に興味を示して説明書等をダウンロードした者が22者いたのに対し、実際の参加表明者が2者となっていますが、その要因として今回の業務は履行期間が繁忙期である第4四半期であり、担当技術者あるいは監理技術者の確保が困難であったと予想されます。 - そのとおりです。

意 見・質 問	回 答
4. 一般競争入札方式 「廃棄物処理(その2)」 - それほど難しくない業務内容で、対象業者も多数いるように思えますが、一者応札となった要因としてどのようなことが考えられますか。 - 業界全体として、時期によっては仕事量に対して人員が足りないという状況が起こりうるということでしょうか。	- 入札説明書を取り寄せた2者のうち参加しなかった1者にヒアリングを行ったところ、繁忙期で車両や人員を配置する余裕がないので参加を見送ったとの回答が得られました。 - そういう状況もあるかと思いますが、その他にも今回の廃棄物として挙げている防舷材やマンホールなどは、その大きさから取扱いが難しかったのではないかと想像します。

意 見・質 問	回 答
5. 一般競争入札方式 「乗用自動車交換購入」 予定価格を決定する際に、ハイブリッド車	今回の予定価格の決定に際して、低燃費とい

かガソリン車のどちらを採用するかはどの様にしていますか。	う条件の下で見積を取ったところ、結果として燃費17.0km/Lのガソリン車の見積が提出され、燃費目標値として設定しました。また、予算の制約もありますので、ガソリン車の価格が妥当と判断しました。
・ハイブリッド車は購入出来ないという規定がある訳ではなく、予算から考えると結果的に除外となったということでしょうか。	・入札の参加を除外するものではなく、相当な値引きがなされれば落札の可能性もありますが、予定価格の設定という点においては、ハイブリッド車の採用は難しいことになります。
・評価項目の「燃費値」というのは、ガソリン車、ハイブリッド車共通の算定方法ですか。	・そのとおりです。
・理論上で言うと、ハイブリッド車が相当値引きされ、燃費値もガソリン車と比べてかなりよければ、勝てる可能性が幅広的にあり得るということですか。	・そのとおりです。
・入札が2回で予定価格以下にならずに、見積で更に価格を落として貰っていますが、これはどういうことでしょうか。	・原則2回の入札までですが、業務上すぐに必要でしたので不落随意契約を設定しております。業者に確認したところ1回目の入札は誤って税込価格で入札してしまったらしく、本来であれば2回目の入札で落札出来ていたはずなので、予定価格的にも問題はありません。
・使用中の乗用車については下取りとなっていますが、下取りを前提とした予定価格の設定となっているのですか。	・予定価格は下取り額を加味したものとなっております。ちなみに下取り額は第三者機関に依頼して算定しております。

意 見・質 問	回 答
6. 全体を通して ・質問なし。	